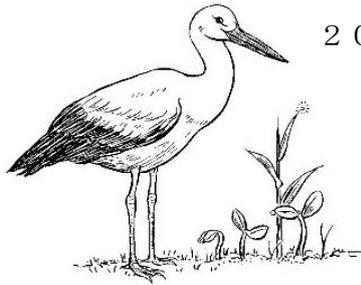


わたらせ未来通信 25号 わたらせ未来基金

2012.9.15

代表世話人 青木章彦



<新事務局>

〒306-0234 茨城県古河市上辺見3041

電話/FAX 0280-31-8913 (内田方)

E-mail mikuni84219-uti@lion.ocn.ne.jp (同上)

HP <http://watarase-mirai.jimdo.com/>

郵便振替口座 わたらせ未来基金 00160-1-12481

編集 塚田啓一

渡良瀬遊水池がラムサール条約登録湿地に

7月3日、渡良瀬遊水池がラムサール条約の登録地となり、7月7日、ルーマニアのブカレストで開催された第11回締約国会議のサイドイベント会場で、認定証が授与されました。

授与式では、栃木市の代理で当会の青木章彦代表世話人が、小山市の代理で「渡良瀬遊水池をラムサール条約登録地にする会」の楠道昭代表が認定証を受け、あいさつで登録された意義と喜び等を語っています(青木代表のスピーチはp2に掲載)。

登録の喜びは大きいですが、世界的に重要な湿地として認められた今、治水を重んじつつ湿地の再生保全を図り、将来を見据えた「賢明な利用」にむけ、これからの活動がますます大切になると考えます。

【祝】ラムサール登録！！

青木章彦

7月3日～10日まで、ラムサール条約第11回締約国会議(COP11)に出席するため、ルーマニアのブカレストに行っていました。

7月7日には、栃木市長の代理として、私が認定登録証をラムサール条約事務局長のアナダ・ティエーガ氏から受け取りました。登録湿地の紹介の時間があり、以下の様な内容を英語でスピーチしました。

なお、認定登録証は、現地で環境省に託し、8月9日には栃木市長に授与されました。

わたらせ未来基金では、現在、利根川上流河川事務所の後援を得て、「渡良瀬遊水池 湿地保全・再生プロジェクト」を進めています。これは、第2調節池の試験掘削地の環境学習フィールドでのプロジェクトです。湿地の保全作業(ヤナギとセイタカアワダチソウの除去作業)や観察会などを市民の参加を募って実施中です。ラムサール登録を機に、より多くの方に参加いただきたいと思います。



授与式会場での参加者記念撮影



認定証

【自己紹介】

私は、わたらせ未来基金代表世話人の青木章彦です。

本日は、栃木市長に代わりラムサール認定登録証を受け取りとても光栄です。

【わたらせ未来基金】

私たちは渡良瀬遊水地のワイズユースに取り組んでいます。

【渡良瀬遊水地の紹介】

渡良瀬遊水地は、治水のための人工的な遊水地です。しかし、渡良瀬遊水地は、約 3300ヘクタールの自然豊かな湿地です。そのうち、2861ヘクタールが今回登録されました。

渡良瀬遊水地では沢山の動植物が生息し、絶滅危惧植物は60種を超えています。また、ワシタカ類の越冬地としては日本最大級、野鳥や昆虫が豊富。パラグライダーや熱気球などのスカイスポーツも楽しめます。

歴史的には、渡良瀬遊水地は治水や足尾鉍毒事件の鉍毒を沈殿させ無害化するなどの目的で1910年に造成を開始されました。足尾鉍毒事件は、日本の公害問題の原点と言われており、田中正造は、谷中村を廃村にしての渡良瀬遊水地の建設に反対しました。彼は日本で最も有名な環境保護活動家で、私もとても彼を尊敬しています。

【これまでとこれから】

渡良瀬遊水地が人工的に作られて100年が経ちました。これまでの100年は、公害と治水と自然保護の歴史でした。

日本において、ラムサール湿地は、鳥獣保護区の特別保護区で担保されてきました。渡良瀬遊水地は、鳥獣保護区の普通地区と河川法の環境条項で担保される初めてのケースになりました。

これからの100年は、治水と自然保護を両立させたワイズユースの歴史となるでしょう。そして、その歩みは既に始まっているのです。私達には「湿地保全・再生基本計画」があり、実際に治水と湿地の保全が始まっています。未来永劫に渡り、自然と人間が共存する渡良瀬遊水地にするべく、全ての主体とともに活動を続けていきたいと思えます。

【まとめ】

ラムサール認定登録証を受け取り、私たちは、これまで以上に渡良瀬遊水地の自然環境の保全と賢明な利用に務めなければならないと、決意を新たにしています。

【お礼】

本当にありがとうございました。

秋からの行事予定

○「どんぐり拾い」・「安蘇沢植樹地の手入れ」

例年どおり、下記により足尾でどんぐり拾いを行います。

開催日 10月21日(日)

集合時間 車の方：午前10時 電車の方：9時30分

集合場所 車の方：足尾・銀山平キャンプ場の駐車場(国民宿舎かじか荘手前)

電車の方：わたらせ溪谷鉄道 原向駅前(桐生発8:08 相老発8:14)

原向着9:21)

(電車の方は待ち合わせ場所に車で迎えに行きますので、事前に連絡願います。)

採取場所 銀山平から舟石峠方面(予定)

どんぐり拾いは午前中で終わり、午後からは、安蘇沢の植樹地に行き、冬に向けてシカ除けネットの補修作業等を行います。参加できる方は、昼食もご用意願います。

○「ウォーク the わたらせ ー源流から渡良瀬湿地帯へー」 第10弾

<田中霊祠から旧渡良瀬川を辿る>

第10弾は、前回の終点「田中霊祠」から途中対岸に渡り、旧渡良瀬川を辿り、約10kmを歩きます。

開催日・集合時間 11月23日（金）午前9時

集 合 場 所 田中霊祠（栃木市藤岡町堤外）

県道11号の渡良瀬川にかかる藤岡大橋の北側土手に沿って佐野方面
約1km右手奥（東武日光・宇都宮線藤岡駅から2km強）

準備するもの 昼食、飲物、帽子、雨具

解散時間 午後2時頃の予定。ウォーク出発地点に車を置いた方は、車で送ります。

<両イベントの参加申込連絡・問合せ先>

TEL・FAX・E-mailとも、1ページ右上記載の事務局へ

上記両イベントに参加される方は、保険登録の関係で、「どんぐり拾い」は10月10日（水）、「ウォーク」は11月12日（月）までに連絡をお願いします。

○渡良瀬遊水地 湿地保全・再生プロジェクト

11月11日（日）に、野鳥・植物の観察、動物の足跡調査及び湿地保全作業（ヤナギやセイタカアワダチソウ等の除去）を行います。

集合時間・場所 午前9時15分

栃木市藤岡遊水池会館前駐車場（栃木市藤岡町藤岡1788番地）
（東武日光線「藤岡駅」歩15分）

○ヨシ刈りデー

12月9日（日）（第二日曜日）、渡良瀬湿地帯（遊水池）において行います。

（予備日 12月16日）

集合時間・場所 午前9時30分 栃木市藤岡遊水池会館前駐車場



今年のヨシ刈り

ヨシ刈り体験とヨシの活用を目的としたヨシ刈りです。

当日のヨシ刈りは、史跡保全ゾーン駐車場付近で行う予定です。横堤屋敷林の樹木保護のための防火帯作りは、来年1月20日（日）に行う予定です。

（詳細は、改めて11月に会員向けに通知します）

<その他のヨシ刈りイベント>

12月13日（木）古河7小5年生のヨシ刈り体験

刈り場は上記同様、史跡保全ゾーン駐車場付近で午前10頃から始めます。児童たちの楽しむ姿と一緒に体験してみませんか。

○ その他の行事予定

2013年3月10日(日) 渡良瀬湿地帯のヨシ焼前のゴミ拾い(他団体と合同開催)
ヨシ焼きが中止でも、毎年行ってきています。

○ 他団体・個人の渡良瀬湿地帯での観察会等のご案内

1 大和田真澄氏の植物観察会

今年の最終回は、10月6日(土) 10時~12時です。集合場所は、谷中村史跡保全ゾーン(谷中湖の北側) 駐車場付近。詳細は大和田氏のホームページ <http://www.ryomonet.co.jp/mo/mo/> 「ニュース」の欄をご覧ください。

2 日本野鳥の会栃木の探鳥会

10月20日(土) 9時、2013年1月1日(日) 6時、1月13日9時、いずれも栃木市藤岡遊水池会館前駐車場に集合です。

主な活動の報告

○ わたらせ未来プロジェクト「足尾植樹デー」

4月22日(日)、17名の参加があり、前半は「足尾に緑を育てる会」の植樹デーに参加し、桐久保沢の植樹地で植樹を行い、後半は当会の管理する安蘇沢の植樹地で、植樹とシカ避けネットの補強作業を行いました。

今回の安蘇沢での植樹は、苗数を限定し、1時間以上かけて深くかつ広く掘った穴にヨシ腐茎土と共に大量の土を入れ、ミズナラ3本を植樹しました。

○ 「湿地のグリーンウェイブ」 渡良瀬遊水池自然観察会

共催 渡良瀬遊水池を守る利根川流域住民協議会
日本野鳥の会栃木
渡良瀬遊水池をラムサール条約登録地にする会



昆虫グループの観察会風景

○セイタカアワダチソウとヤナギの除去作戦

共催 国土交通省利根川上流河川事務所（利根上）
渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団

5月13日（日）午後、第二調節池内の試験掘削地環境学習ゾーンにおいて、40名の参加者によりセイタカアワダチソウ、ヤナギの除去作業を行いました。3年前から掘削し始めた湿地再生試験地で、昨年から数回行った除去作業の成果が認められ、多かった各種のヤナギやセイタカアワダチソウも大きいものは減りました。ただし、新しくヤナギ等が伸び始め、まだまだ駆除は必要です。

○渡良瀬遊水地 湿地保全・再生プロジェクト

5月20日、7月15日及び9月9日に、野鳥・植物の観察、魚類調査、動物の足跡調査及び上記と同様の湿地保全作業を行いました。

○講演会

6月10日（日）、定期総会前の藤岡遊水池会館において、「ラムサール条約とワイズユースによるまちづくり」と題し、「蕪栗ぬまっこくらぶ」副理事長の戸島潤氏の講演会を開催しました。

日本有数のマガン渡来地・宮城県蕪栗沼で保全活動を行う、ラムサール条約登録地の先輩であるNPOの、住民と一体となった活動の話が大変参考となる講演でした。

○わたらせ未来プロジェクト「足尾草刈りデー」

7月16日（月）の海の日、午前中「足尾に緑を育てる会」主催の夏の草刈りデーに参加し、午後は当会の安蘇沢の植樹地の草刈り、植樹木と柵の手入れを行いました。

総会報告

6月10日（日）午後、藤岡遊水池会館において定期総会が開催されました。前年度活動報告、会計報告、今年度活動計画案及び予算案が審議され、ほぼ原案通り承認されました。

なお、役員改選があり、事務局長と会計が変わりました。

前任の方、お疲れ様でした。後任の方、健闘を祈ります。

事務局長	前任	猿山 弘子	新任	内田 孝男
会計	前任	寺島 陽子	新任	猿山 弘子

<前事務局長から>

わたらせ未来基金 新事務局長体制に期待

猿山 弘子

本会発足後（2001年）の会計から、2004年に事務局長を引き受けて、今年度内田孝男氏に引き継ぎました。会計も含めた12年の間、緩やかながら発足当時の理念を変えずに任を果たすことが出来たのは幸いでした。

会の設立は 2000 年に「渡良瀬第二貯水池建設計画」の見直しを論議する中での、「渡良瀬遊水池氾濫原再生事業」を提唱する飯島 博氏の構想により始まりました。その後、この構想を「わたらせ未来プロジェクト」と呼んでいます、この機会にプロジェクトの経過に触れておきます。

プロジェクトの一つとして、東大保全生態学研究室、国交省との協働で、貯水池建設計画予定地・第二調節池の埋土種子の調査を 2001 年に始めました。遊水池周辺の小、中、高校 12 校に遊水池の土を運んで、学校ビオトープ池をつくり、埋土種子を発芽させます。5 年間の取組みで、第二調節池に貴重な種子が埋蔵されていることが明らかになり、第二貯水池計画を中止させる一因となりました。その後、この調査結果は「渡良瀬遊水地湿地保全・再生基本計画」の策定に繋がり、さらにラムサール条約湿地登録へと結びついていったのです。

プロジェクトの二つ目は、「ヨシ原の管理」のためヨシ刈りをする事、刈ったヨシのヨシズ外の新たな利用法を探ることでした。長年の試行錯誤の末、琵琶湖の「淡海環境保全財団」の助言を頂き、現在「ヨシ腐茎土（腐葉土）」づくりに成功しています。

三つ目は、貯水池建設計画より森林の保水力を増加させる「足尾の緑化事業」に取り組もうというものでした。足尾に緑を育てる会の指導・連携のもとに 10 年の積み重ね、「どんぐりの里親制度」で会員活動の幅も増え貴重な活動でした。足尾緑化には渡良瀬遊水池のヨシの腐茎土の使用を続けて、両地域を結び付けています。こうして「わたらせ未来プロジェクト」は有能なスタッフと、熱心な会員のもとで着実に、目指す未来に向かっていきます。

事務局長としては外部交渉にあたる位でしたが、充実した日々でした。初代表世話人の飯島博氏から「貴女の務めは、次世代の人を育てること」とであると言われて、その役割を果たせたかどうか疑わしいですが、新事務局長の体制のもとでは、益々会が発展すると信じております。

2012 年「渡良瀬遊水地ラムサール条約湿地登録」、今後の湿地保全・再生は新たな道です。みなのお知恵と力を集めて歩まれますようお祈りいたします。

<新事務局長から>

事務局の引継ぎにあたって

内田孝男

2012 年 6 月の総会において、事務局並びに事務局長の変更が承認され、就任しました内田孝男です。2001 年 3 月、栃木市藤岡遊水池会館 2 F で発足以来、わたらせ未来プロジェクトに係るたくさんの方々と取り組んで来て、早や 11 年目となりました。

足尾での銅産出による鉍毒防止対策と治水対策のため谷中村が廃村となり一帯が遊水池化され、時代の流れとともに自然が還ってきた渡良瀬遊水池。そして今年 7 月ラムサール登録湿地に登録され、世界にその名を発信させました。遊水池も変わりました、皆様と変えるべく活動してきたというべきでしょうか。また、ラムサール登録は終点でなく 1 つの通過点に過ぎません。

事務局がこれまでの栃木県・栃木市から茨城県・古河市に移り、拠点としていいのかな。という気持ちはありましたが、4 県・4 市 2 町にまたがる広域性を考えると、場所にこだわるのがかえって愚かでした。

実務と同時に事務局の仕事まで務まるかどうか不安はありますが、これからも湿地保全再生のための活動は続けていかななくてはなりません。より多面的な動きが予想される中、方向を見失わずより良い方法を皆様とともに考え、実践行動していきたいと思っております。どうぞ、皆様の一層のご指導とご協力をお願いいたします。

ヨシ腐茎土（腐葉土）

○腐茎土作り

NPO 法人渡良瀬エコビレッジとの共働により、5月26日裁断・引き延ばし、7月4日天地返し、7月28日積上げ、9月8日第1回切返しを行いました。

裁断したヨシの積上げが、例年の約1カ月遅れとなり、次回は10月上旬に第2回目の切返し、以後3回目の切返しと袋詰めを行います。詳細は、わたらせ未来基金のホームページ付属のブログに掲載するとともに、メーリングリスト登録者に通知しますので、是非ご参加ください。

渡良瀬湿地帯に関する情報等

○渡良瀬遊水地湿地保全・再生モニタリング委員会

前回お知らせした2011年10月25日の第3回以後、開催されておられません。

その他のお知らせ

○ホームページアドレスの変更について

1ページ右上に掲載のように、当会のホームページアドレスを変更するとともに、掲載スタイルを一新しました。新アドレス <http://watarase-mirai.jimdo.com/> に、一度アクセスしてみてください。

○年会費納入のお願い

前回の通信24号に振込用紙を同封しましたが、今年度分未納の方は、これからでも結構です。納入をお願いします。

○「わたらせ未来プロジェクト」メーリングリストへの登録者募集

当会の活動情報をより早く入手し、情報を交換し合うことが可能です。当「通信」等の郵送費用削減のためにも、ご協力をお願いします。

登録していただける方は、Eメールで事務局あてお申し込みください。

その他の活動日誌（2012年4月～2012年9月）

- 4.04 利根上地域連携課との湿地再生等に関する話し合い
- 4.13・23 利根上藤岡出張所長との湿地保全地に関する打ち合せと現地調査
- 5.05・27 足尾・安蘇沢植樹地生育調査及び苗の手入れ
- 6.30 「渡良瀬遊水池をラムサール条約登録地にする会」総会参加
- 7.11 栃木市にラムサール登録認定証授与の報告（青木代表）
- 9.01 渡良瀬遊水池のラムサール条約湿地登録報告集会（青木代表・内田事務局長外の報告）